



13・6・8(土)
南NEWS NO17

前半は君達の試合だったよ！

…6年生拓大杯，1回戦敗退…

対東戦。前半，決定的な場面を何度も創りながら，終盤，ミスで失点しました。しかし相手に決定的なチャンスを創らせることはなく南が終始押していた試合でした。

めあてのコーチングが徹底できなかつた，パスアンドムーブができなかつた等，もう少しだなと言えることもありました，パスサッカーが得意な相手チームに数的優位を保って余裕を与えなかつたことがその要因です。

1点取れていれば試合は南の勝利に終わっていたかも知れません。

b y 南のアンパンマン



矢上先生、大変お世話になっております。本日、拓殖大杯一回戦、小丸コーチの試合コメントです。

b y 和田監督

拓大杯 ジュニアユースの結果 6月2日(日) 拓大ラグビー場

○南八王子1-3東京ウエスト 前半0-2 得点 小林君

本日は、拓大杯1回戦。>相手は東京ウエストとの試合となりました。

前半の初めは、攻められる時間帯が続くものの、GK 牛窪君のファインセーブや、ポスト・バーに助けられるラッキーも重なり、早い段階での失点はありませんでした。しかし前半半ば、相手からDF同士の間に縦パスが入り、受けた相手FWが反転して突破。GKが飛び出し、一回は弾き出すものの、2列目にこぼれを拾われ、バイタルエリアからのミドルを叩き込まれて失点。

この失点の後から、南八の運動量もより上がり、前からのプレスも効率良くかけられるようになり、徐々に流れを掴み始めました。しかし、前半終盤に全体が前がかりになったところをロングボールでカウンターされ、失点。このまま前半は終了となりました。また、前半では船津君のFKがバーに当たり、古屋君が詰めるというチャンスも生まれましたが惜しくも得点には至りませんでした。

後半には、一瞬気が緩んだのか、マークが甘くなりミドルをコースに正確に打たれ0-3。その後も危ない場面が続きました。その中でも、後半途中に小林君を投入し、その小林君を中心として効率の良いディフェンスを行うこともでき、結果、奪ったボールを船津君が中央で受けドンピシャのスルーパスを送り、裏に抜け出した小林君が落ち着いて沈めて1-3。一矢報いた形になりました。

また後半には、前半よりもシュートで終わる意識が強まり、工藤君のミドルや、

スペースに抜けた中西君のシュートなどチャンスもありましたが、得点には至らず、試合終了。1回戦敗退となりました。

この試合で感じたことは【DFとMFの間が間伸びしやすい】>これは、DFラインの上げ下げが遅いのもありますが、ボランチなどの選手もバランスを意識して対応していれば、相手にスペースを与えずにプレーでき、もっとディフェンスも楽になったのではないのでしょうか。

【FWなどに対する後ろからの声が少ない】FWに対して、『右切れ！』『左切れ！』といった声が後ろからしっかりかかっているならば、FWでコースを限定し、MFで奪うかもう一つコースを限定させ、最終ラインで奪い切るといった相手のプレーを限定した状態で守れるはずで、これがチーム全体で出せばもっと効率良く守れるはずです。

【少し遠くてもシュートを打つ意識】前半は特にシュートを打つ意識が低く、コースが空いているのにわざわざドリブルで仕掛けて行ったり、安全なところへパスしてしまったり…。せっかくコースを狙って打てる力があるのにもったいないと思います。

逆に後半では、意識も強くなり、良いリズムも生まれたと思います。シュートで終わることは攻撃のリズムを作る上でも大事だと再認識して欲しい！

【一つ一つのプレーの雑さ】相手の速くて激しいプレッシャー、いつもよりボ

ールの伸びる人工芝のグラウンドなど、いつもと違ったり、厳しい環境でのプレーでしたが、その中でも1つのパス・1つのトラップなどを正確にして、次のプレーに繋げることは基本であり、最も大事なことではないのでしょうか。今日のような環境でしっかりやるためには、日頃の練習から手を抜かずにやるしかないと思います。これらのことが挙げられると思います。

総括としてはとにかく、自分たちが雑なパスを送ったり、声を出して確認したり(コーチング)、コースを切ったりということをサボればそれだけ相手は自由にプレーできます。つまり、自分たちがサボった分だけ自分たちの首を絞めていることとなります。自分たちが落ち着いてプレーしたいなら、1つ1つのプレーや声を大切にしたいです。

3年生はこれから高校に向けて勉強なども忙しくなるとは思いますが、なるべく顔を出して欲しいです。そして少しでも上のレベルにステップアップできるように頑張らしましょう。

2年生はまだ1年間あります。ステップアップするためにもこれからの練習にこの試合で得た課題を生かしていきましょう。

b y Jrユース小丸コーチ

第36回 拓大杯 6年生の結果 6月2日 拓大サッカー場

〇めあて コーチング パスアンドムーブ 渡り廊下

1回戦 南八王子0-5東八王子 前半0-1

対東戦後半、ハーフライン付近でドリブをしていて相手に奪われたのに奪い返すための素速く強いフィジカルなリアクションが取れなかったために、フリーで撃たれたミドルシュートが鮮やかに決まり0-2。その後はディレイもコーチングもなく、ボールを回され、相手の得点ラッシュでした。

0-5の大敗になりましたが、練習の成果が出ている場面も観られました。交替で入った米蔵君のボールをキープする相手に体をぶつけてボールを奪う、スライディングでカットする、気持ちのこもったプレー。井上さんの右サイドの渡り廊下を使った効果的な攻め、ドリブル突破。中居君の華麗なターンで相手を抜き去るプレー。GK気仙君の落としのパスを受けてフィードバックするプレー。永末君の鮮やかなジャンプヘッド等、いいプレーがたくさん観られました。

しかし、全体として、めあての達成をめざすひたむきさが感じられない、長友選手の以下の言葉が“その通りだな”と思える試合展開でした。

“豪州戦の勝ち負けの分かれ目は「戦術や技術ではない。勝ちたい思いをどこまで強く持てるか」だと考える。”

……でも、前半右サイドをドリブル突破して右足で強いシュートを撃った五島君のプレーも素晴らしかったです。ただ、前にいたのはGKだけ。GKを抜き去って確実に点を取るための力も持っています。次はその力も発揮してくださいね。

山本君・金子君・福岡君のドリブルの切れ、左右の足のシュート力は抜群です。試合で発揮してほしいです。秋のさわやか杯に勝つために必要です。

片倉の公園で村山君や斎藤君が自主練習をしているのを見たことがあります。その努力は成果を挙げています。2人も力をつけています。

西澤君の豊富な運動量、アジリティ。永沢君・望月君のコーチング。どれももっと試合でその力を発揮してほしいです。



秋に大きな実りを獲得するために、代表の本田選手が言うように“個々のレベルを高める”ことが何より大切です。

午後練・土日の練習にも、“上手くなろう！自分のレベルを高めよう”という強い意識を持って参加しよう！！

道は開かれている。君達はその気になれば絶対に開くことができる。

b y 南のアンパンマン